



撮影●竹下 賢さん(八幡東区)
撮影場所/立屋敷八剱神社

もう目が離せません。
MY TOWN MIZUMAKI

いきいきと輝きはじめる町。
みんなで四季を感じ、町を楽しみ、未来をつくる。
そんな水巻だったら素敵だと思う。
おじいちゃんやおばあちゃんの穏やかな笑顔。
子供たちの屈託のない元気な笑顔。
マチには笑顔が満ちあふれ、
ひとつとして同じものはない一瞬の風景たち。
空気のような存在の自分の町、
もう一度見直してみたい。

さあ、今年はどんな表情を見せてくれるでしょうか。

マチは、
元気
です。

広報 **水巻**

No711'95

1

月号



特集●1995年 新春対談

みずまき新時代。

21世紀へ向かう私たちの水巻町。これからどのように変わろうとしていくのか

明けましておめでとうございます。新しい一年がスタートしました。皆さん良いお年を迎えられましたか。

新春を飾る特集は、町長と議長への対談です。今回は、水巻中学校と水巻南中学校の生徒会会長を対談のインタビュアーに迎え、21世紀の水巻町を担う若いお二人に日ごろ感じていることを率直に質問してもらいました。なごやかなムードの中で、町長と議長にざっくばらんな意見を述べていただきました。

今井/明けましておめでとうございます。はじめに今年、水巻町ではどのような事業が行われるのですか。また、将来はどのような町にしていきたいですか。聞かせてください。

町長/何といつても保健福祉会館の建設が今年の目玉になるでしょう。現在愛称を募集しているこの保健福祉会館は、お年寄りの健康と生きがいづくりの拠点になるものです。昨年の秋に工事に入り、今年9月いっぱいまで完成する予定です。ですから目に見える一番大きな事業としては、保健福祉会館の完成でしょうね。

そのほかには、水巻町では最後の開発と言われている、水巻町と中間市にまたがるボタ山の開発がいよいよ具体化してきます。今のところ考えているのは、まず平成7年度中にあのボタ山を水巻町と中間市で、国から買いとること。次に公園にするための第一段階として山の高いところ

保健福祉会館の建設が、今年の事業の目玉です

●新春対談 NEW YEAR'S TALK

■インタビュアー

■対談者

岡美奈子さん

水巻中学校2年生徒会会長

今井志保さん

水巻南中学校2年生徒会会長

美浦喜明

(水巻町議会会議長)

田中博幸

(水巻町長)



なごやかに対談する田中博幸町長

ろなどを削って粗造成していく。そんな年になると思います。事業として本格的に動き出すのはまだ先になります。が、今まで眠っていた「ボタ山開発計画」が動きだすわけです。夢のある大きな事業ですが、これからの様なものにしていくのか皆さんの意見を聞いて、慎重に取り組んでいきたいですね。岡／私たちも年をとっていくわけですが、お年寄りに優しい町づくりをどのように進めていくおつもりですか。お聞かせください。

町長／この問題は今、全国的に取り組んでいるところですが、西暦二〇二〇年には65歳以上のお年寄りが四人に一人の割合になるような高齢社会が訪れると言われています。そのために保健福祉会館を建設しているところです。そのほか老人施設の整備や介護支援センターの開設、ショートステイなどの老人対策を考えています。

同時に元気なお年寄りには、「生きがいと健康づくり」モデル事業というのがあります。各地区にある老人クラブがまとまり、町内の高齢者が一緒に行動できるような事業です。このように余生を楽しみながら、喜びや生きが

いのある長生きできるような健康づくり事業も進めていく予定です。

また、寝たきりの人に対しては訪問看護の制度を強化したり、独り暮らしでいつ倒れるかわからないというお年寄りには、緊急通報システムというペダントを渡しています。もし気分が悪くなったらそのペダントのボタンを押せば、救急車が来るといふものです。この体制は、水巻町では昨年から確立し、28人にこのペダントを渡しています。

議長／お年寄りにやさしい町づくりといっても、これからは行政や議会だけに任せてただ頼るだけではどうしようもありません。人がやればいいんだというのではなく、全町民が一体となって自分のこととして考えていくべきです。高齢者に対して、行政・議会が進んでそのような施策の充実を図りながら、子供からお年寄りまでが一緒に考えていかなければいけません。「老後は良かったな」「水巻町に住んで良かったな」という気持ちになってもらうように、行政・議会を含めて町民一体となって、人ごとではなく自分もいつかは年をとっていくという考えのもと進めていけば必ずいい町づくりができると思います。

岡／昨年、水巻中学校の下にオランダとの交流をテーマにした壁画が完成しましたが、国際交流はどのように進められるのですか。

町長／ほかの町に比べると国際交流は遅れているのかもしれませんが、ただ、オランダとの国際交流は全国でも水巻町が一番進んでいるのではないでしょう。昨年オランダの大使がこの町を訪れ、古賀にある十字架の塔でお参

りをしたあと、水巻中学校の皆さんが描いた壁画を覗いていただきました。

また、オランダのエモロールド市からの訪問団が来る計画もありますし、水巻町の方からもオランダを訪問する予定です。そのあとに中学生数人を一週間程度、オランダという国を見てもらうような機会をつくりたいですね。ここの二、三年で具体的な国際交流の方法を見出したいと思っています。



水巻中学校下に完成した色鮮やかな壁画

今井／話は変わりますが、私たちの勉強のために一度議会を見学させてもらえませんか。

議長／ぜひ議会の見学には来てもらいたいですね。見学して水巻町の行政や議会がどういう仕組みで成り立っているのかということをご皆さんに勉強していただきたいものです。まず議会には3月、6月、9月、12月に行われる定例会、それから特別に何か必要なことがあれば開く臨時会、という仕組みになっています。例えば今年3月に

開かれる定例会では、平成7年度の予算審議を行います。ですから皆さんには、いつ、どういうことを議会で行っているのかを本の上ではなく、実際に来て勉強してもらえればいいですね。ぜひ一度、皆さんに議会風景や議場を見学していただき、質問や要望があれば受けていきたいと思っています。

それと確か岡垣町だったと思います。以前、中学校の生徒会の生徒たちが「子供議会」というものを行った例があります。生徒が議員役となり、町に対して感じていたりすることや思っていることを町長や課長に質問するというものです。水巻町でも生徒会が企画して、皆さんの目から見た今の町に対する不満や町長の考えなどを、議場で正式に答えてもらおうという企画もいいと思いますよ。



岡美奈子さん●昭和55年4月24日生まれ・牡牛座
好きな教科/体育、音楽 クラブ活動/バレーボール
今年の抱負/部活動でがんばりたい 対談を終えた感想/とっても緊張しました。(高尾団地)

高齢化問題は、全町民が一体となって自分のこととして考えていくべきです。

岡／次に中央公民館にある図書室を充実して欲しいと思っています。町長はどのように考えていますか。

町長／今ある図書室をいくら充実させても、あくまで図書室です。ですから町としても図書館を建設しようという計画があり、今年が基本設計の年になっています。どんな図書館をつくるかは、平成7年度に大学の先生や住民代表の方も加わった「図書館建設検討委員会」をつくって、議論していきたいと考えています。そして平成8年と9年で図書館を建設したいと思います。また、その図書館は炭鉱の資料などを展示する資料館と一緒につくるのか、場所や規模はどうするのか、内容をどうするのかということも考えていかなければなりません。ただいずれにせよ本を読むだけの図書館ではなく、楽しく価値あるものをつくりたいですね。岡／ところで、秋になるとコスモスが河川敷に咲きとてもきれいです。できれば四季の花を植えて、一年中美しくしてもらいたいのですが。

水巻町を含めた遠賀郡の将来を 大きな観点から考えていきたい。

りに、河川敷にはボランテイアの皆さんにお願ひしてがんばっているところ。しかし、遠賀川の伊左座付近には昔ながらの葦が生えています。花も大切と思いますが、あの遠賀川と葦という風景も目を向けて大切にしていきたいですね。



岡／それと遠賀川沿いの立屋敷の史跡をもう少し名所にしていったらいいんじゃないですか。

町長／確かにそうですね。ご存じのように立屋敷には弥生時代の遺跡が出た立屋敷遺跡があります。昨年の夏、湯水で姿を現しましたが、普段は川の真ん中にあり見ることはできません。今年度は建設省にお願ひして河川敷の一角所に八剱神社や碓姫伝説にまつわる大イチョウ、そして立屋敷遺跡がここにあったんですよという大きな案内版を建てる計画になっています。

21世紀を見据えた 若者にも魅力ある町づくり

今井／次は若者の話に変わりますが、町外で就職しなくてもいいように、町内に産業を興して欲しいことと、水巻町に公立の高校や大学をつくることはできませんか。

町長／これは難しい質問ですね。まず、この町を見てもみると人口は3万人を超えています。面積は遠賀川を除くと10平方キロメートルほどの狭い町です。そして周辺を見渡すと中間市と遠賀町に高校が、北九州市には高校や大学がたくさんあります。ですから現在ある高校や大学を目指してもらおうのがいいのか、新設した方がいいのか、ということになると私は町内につくることは難しいと思います。

また、産業を興し、企業を誘致してそこで働けるようにして欲しいというご意見は、もつとな話です。以前、日本炭鉱が栄えていたときには、町の人口の約半数が日本炭鉱に従事していました。やはり日本炭鉱に代わるような大きな企業は必要ですね。そのことについては、何とか町民が自分の家から通えるような職場の確保には努力していきたいですね。

今井／同じ質問ですが、議長はどのように考えていますか。
議長／高校や大学の件に関しては、町長がお話したとおりです。どうしても水巻町は土地がせまいので、企業の誘致などはそのことが大きな障害となっているのが事実です。議会では水巻町の将来も含めて遠賀郡の将来を考えるために、数年前から遠賀郡4町で「合



今井志保さん ● 昭和55年5月11日生まれ・牡牛座
好きな教科／体育 クラブ活動／バスケットボール
今年の抱負／バスケットで全国制覇 対談を終えた感想／緊張したけど勉強になりました。(吉田一)

併を考える検討委員会」をつくり、様々な問題を討議しています。そういう意味で、大きな観点から遠賀郡の将来像の中に、雇用の問題や高校・大学を誘致して学園都市づくりというものも考えているわけです。町長も水巻町が岡垣町のように土地があれば、積極的に学校や優秀な大手企業を誘致したりといろんな構想があるでしょう。しかし、水巻町は狭くて南北に分断され、このままだと北九州市のベッドタウンとしてしか生き残れないのです。岡／四つの町は合併して一つの市になるのですか。
議長／議会では、四町の二十一世紀を見据えて検討しているところですが、もし合併して「遠賀市」になれば、人口は約九万六千で県下でも大きい方になります。財政の基盤も非常に良くなってきます。しかし、合併に関してはいろいろな考えがあるわけですね。例えば、水巻町はこのままでもいいんじゃないかという考え方や北九州市に合併した方がいいという考え方や、4町合併しようという考え方などがあるわけですね。その

中で「遠賀市」ができる可能性を四町の議会で検討しているところだ。というものは、やはりそれぞれの町の性格や規模、歴史が違うため、合併するとすると当然利害関係が生じてきます。その問題が解決されれば、「遠賀市」をつくって町民の皆さんが良かったと言っていただけのような町づくりにしていきたいですね。

ポタ山開発を含めた南部地域の発展と将来

今井／町の南部地域に体育館や運動公園などを建設して欲しいのですが、その予定はないですか。

議長／北部には総合運動公園や町民体育館をはじめいろいろな施設があります。南部にはそのようなものはありませんでした。そのため南部地域の皆さんの強い希望があり、まず南部公民館



生徒たちの質問に笑顔で答える美浦喜明議長

をつくらうじゃないかということになったわけだ。これからは南部の方にも体育館などの施設が充実していくように町長も考えていると思いますよ。町長／議長がおっしゃった通りなんです

けど、先程お話ししたように中間市との境に十二万坪にもなる「ポタ山開発」が控えています。そこには、みんなが遊んで楽しめる施設や運動公園などどのようなものをつくるか計画中です。この開発は非常に大きなもので、水巻町だけではなく中間市や北九州市の住民も遊びに来るような公園計画を考えていきたいですね。時間はかかると思いますが、住民の皆さんが期待するものをつくっていきたくと思っています。

議長／また、水巻町には二つの駅があります。その中で注目を浴びているのが、JR鹿児島本線の水巻駅なんです。いずれば、南部地域の皆さんのより良い利用を図るために南側に改札口を設ける予定です。もうひとつの東水巻駅もかなり利用されていますが、ポタ山の開発が進めばこの駅が重要になり、将来的には吉田団地の建て替え計画など含めて大きなプロジェクトになると思います。北部は町営住宅や公園、県営住宅などがあり少し開けているように感じますが、いずれば南部も大きなスケールで開発が進むと考えられます。ですから今井さんが言うような体育館や公園、駅周辺の整備など期待できるんじゃないかと思えますよ。

今井／私たちが小さいときからなじんできたポタ山を開発で崩してほしくありません。町長／そのような考えもありませんが、国が平成13年には鉱害復旧事業を打ち切るという状況にあります。すなわち鉱害事業やポタ山を管理している国が、もう面倒をみませんよ、ということなんです。確かに眺めるだけで懐かしいという面もありますが、あのポタ山が中間市と水巻町にあるために交通



上不便だったり、地域の交流や発展を阻害しているのも事実なんです。地域や町全体があつたポタ山のために、発展できずに炭鉱が閉山したときの何十年前のままの状態なのです。この先もこのままだと吉田地域、そして水巻町に活力がなくなり沈滞してきます。そうなることを心配して、駅を中心とした開発を進めていくということなんです。ポタ山も開発により全く姿をなくすわけではなく、残せるところは残して、地域の発展を阻害するようなどころを取り除いていくような開発をしようと考えています。

明るい学校、明るい水巻町を一緒につくりたい

今井／今年から小中学校の週5日制が月2回になるようです。私たちがけではなく町民の人も余暇を有意義に過ごせるような行事をやって欲しいのです。

町長／社会全体に週休2日という制

度が浸透してきています。町では、何か子供たちにも参加できる行事をできないかと教育委員会とも話し合い、具体的に取り組んでいます。特に小中学校の生徒たちが参加できるボランティア事業を増やしていかなければいけません。私はやっぱりこれからは、多くのボランティア団体を大人が作ってやる必要があるだろうと思います。子供たちが参加しやすい雰囲気づくりや機会を用意してやるように、役場も教育委員会も考えてやらなければいけません。しかし、参加したくない子供は思いつきり遊んでいいと思う。そこには多様な価値観がありますから、強制しないで自主性に任せ、選択できるようにボランティア事業を増やしていきたいですね。

岡／水巻中学校でもそういうボランティアがあれば、積極的に参加していきたいと思えますので、何か機会があればよろしくお願いします。

議長／最後に今、世間で話題になってる「いじめ」の問題なんですけど、皆さんのところではどうなんでしょうか。お二人は、学校生活の中でそのような問題があれば肌で感じる事ができるわけですね。しかし、外部にいる私たちにはわかりません。我々行政や議会には、学校設備の充実などの環境整備を行うことはできます。そこでお頼みになります。いじめの問題などがあれば、生徒の代表であるお二人を含めた生徒会を中心に解決していただく。そして水巻町には「いじめがない」と胸を張って言える学校にしていくって下さい。そしていじめもない明るい学校、明るい水巻町を一緒につくっていきましょう。

こころのフォトコンテスト入選作品が
決まりました。

ふるさとへの熱い眼差し

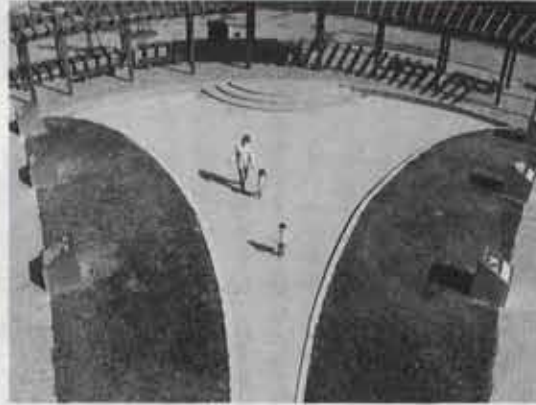
またよび

●春・優秀賞



「桜並木の下を下校する一年生」
井上辰雄さん（立屋敷）

●水巻町最高賞



「公園にて」山口博信さん（吉田三）

●夏・優秀賞



「町民プール」中島順子さん（小倉北区）

●秋・優秀賞



「秋桜満開」
永津都留子さん（若松区）

●冬・優秀賞



「凧揚げ」竹下翼さん（八幡東区）

一年間を通じて、季節感あふれる水巻町の自然、伝統風景などを題材に作品を募集した「水巻町こころのフォトコンテスト」の入選作品が決まりました。このコンテストには、町内外を問わず「水巻らしさ」を豊かに表現した写真を求め五百三十点の作品が寄せられました。素晴らしい作品の数々をご応募いただきありがとうございます。入選作品と入選者は次のとおりです。（敬称略）

なお、役場企画課では、ミニ写真コンテストを含む各入選作品をまとめたカラー写真集を平成6年度中に作成する予定です。お楽しみに。

●水巻町最高賞

「公園にて」山口博信（吉田三）

●春・優秀賞

「桜並木の下を下校する一年生」
井上辰雄（立屋敷）

●夏・優秀賞

「町民プール」中島順子（小倉北区）

●秋・優秀賞

「秋桜満開」永津都留子（若松区）

●冬・優秀賞

「凧揚げ」竹下翼（八幡東区）

●春夏秋冬賞

「お神輿が行く」「水巻のこころ」
江島秀樹（頃末）・「モニユメント」
「夜明け」大林英雄（古賀）
「夕暮れの3号線」高田辰夫（吉田二）
「春の坂道」「古賀の冬春」阿部眞佐美（高尾団地）
「賑わいを見せるメイポールダンス」
「大綱引き大会」井上辰雄（立屋敷）
「河川敷に舞う凧」小田秋男（おかの台）
「魚市寸景」松野達也（みずほ団地）
「おそくなつてごめんさい」榎野昭（八幡西区）
「八剣神社の子供相撲」
山内三男（小倉北区）
「遠賀川の詩」香月常治（小倉北区）
「バラグライダーの日」高智彦（若松区）
「麗秋のボタ山」岩崎晴美（中岡市）
「走る若者」山口裕人（中岡市）
「明け行く水巻」
武谷明（遠賀町）
「貴船神社の秋祭り」竹下翼（八幡東区）
「河口堰夕焼け」重岡久生（芦屋町）

受賞 おめでとうございます

水巻最高賞を受賞した
山口博信さん（吉田三）



大好きな自然を 撮り続けたい。

このコンテストに応募したきっかけは、以前から写真に興味があったことに加え、町が行った写真教室に参加したことが大きいですね。写真教室に参加したことで、コンテストに作品を出してみたくなりました。

今回、賞をいただいた作品「公園にて」は、妻と明神ヶ辻山自然公園に散歩していたとき、展望台から見た眺めが素晴らしいので写真を撮りました。また、写真を撮るときは、光の扱いを大事にしています。

一年間を通して、河守神社をはじめ水巻のいろんな風景を写真に収めたのですが、自然環境が少し悪くなってきているような気がしますね。これからも、大好きな自然を被写体に写真を撮り続けていきたいと思っています。

選評

水巻町の魅力を紹介し、四季を豊かに表現する「こころのフォトコンテスト」に五百点を超す大量の応募がありました。これは水巻町の再認識と郷土への愛情、熱い眼差しでしょう。写真の持つ最大の特徴は記録であり、シャッターを切った瞬間から歴史の一片となるのです。

入賞作品は、いずれもハイレベルの傑作揃いでした。水巻町の四季にわたる風景、産業、伝統芸能、祭り、生活など各分野の優秀作品が選ばれたレベルの高いコンテストでした。 **抜粋**

審査委員長
全日本写真連盟理事 芹田騎郎さん



「遠賀川の詩」
香月常治さん（小倉北区）



「夜明け」大林英雄さん（古賀）



「声援」本田毅さん（鯉口団地）

春夏秋冬賞と入選作品から



「河口堤夕焼け」重岡久生さん（芦屋町）



「パラグライダーの日」高智彦さん（若松区）

素晴らしい作品の
数々ありがとうございました。



入選

井上辰雄（立屋敷）、阿部真佐美（高尾団地）、本田毅（鯉口団地）、江島秀樹（頃末）、柴田弘子（みずほ団地）、竹下翼（八幡東区）、藤本好史（小倉北区）、森山琴（小倉北区）、土藤清（八幡西区）、山口清人（八幡西区）、岩崎晴美（中周市）、田中治（遠賀町）、佐伯倫吉（直方市）、大上真司（八幡東区）、香月常治（小倉北区）

入選作品を 展示します

●とき 1月17日まで
●ところ 中央公民館



夜空にナイスショット

水巻町商工会「ゴルフ教室」

「ナイスショット」の声と同時にゴルフボールが夜空に向かって飛んでいきます。

12月3日から5日までと12月9日から11日までの2回に分かれ、初心者を対象としたゴルフ教室がスミコーダイナミックゴルフ場（頃末）で行われました。この教室は、水巻町商工会が現在取り組んでいる「生涯学習事業」の一環として開かれたものです。ゴルフクラブを握るのは初めてという人を中心に未経験者60人が参加しました。ゴルフの基本を講義で学んだあと、実際にボールを打ちながらフォームをチェック。

「以前からゴルフをやりたいと思っていました。ボールを打つのは楽しいですね」と語ってくれた山岡一恵さん（下二）。早く、緑の芝の生い茂るコースに出てゴルフを楽しめる日が来るといいですね。

大切にしたい手作りの温もり

しめ飾りづくり教室

12月4日、中央公民館で年末恒例の「しめ飾りづくり教室」が行われました。

藁の香りが広がる会場には、28人の参加者が集まりました。しめ飾りづくりの基本は、まずよい藁を選ぶこと。参加者たちは、藁を一本一本でいねいに選び、一握りずつ束ねていきます。藁を束ね合わせたあとは、完成見本のしめ飾りを何度も見ながら、形にしていきます。二時間あまりの作業でようやく鶴の形をしたしめ飾りが完成しました。

「正月には、このしめ飾りを自宅の前に飾りたいですね」と話してくれたのはお孫さんと一緒に参加していた小川康さん（吉田一）。今年の正月、参加者の自宅には、心のこもった手作りのしめ飾りが飾られていたことでしょう。



大空を舞う日を楽しみに

凧づくり教室

12月25日、中央公民館で開かれた「凧づくり教室」には約20人の親子が参加しました。

今年は、伝統的な文楽凧とユニークさと作りやすさが特徴のグニャグニャ凧に挑戦。参加者は、遠賀凧の会の指導員の説明を聞きながら、凧の骨組みとなる竹を組み合わせていきます。次第に凧の形が出来上がってくると、完成を待ちきれない子供たちが、凧を手に取り、会場内を走り回っていました。

「凧に絵を描くのが、とても楽しかったです」と、親子で参加していた工藤桂子ちゃん（伊左座小2年）。完成した凧には、子供たちの思い思いの絵が描かれ、大空へ飛び出す日を楽しみにしていました。



まちのわだい

ホットな情報を
お待ちしております



12月3日、猪熊小学校の開校40周年を記念し、地域への奉仕活動を行いました。生徒約700人が参加し、町内の清掃に汗を流しました。

猪熊小学校奉仕活動

自慢したい、きれいな町を。



団地の中に
安らぎの池、
完成。

昨年11月末、高松団地1棟と8棟の間に落差約8メートルの滝が完成しました。この滝は、ふる

さと緑地整備事業のひとつとして建設したもので、来年から一日に2時間ほど水を流す予定です。また、この事業では、芝を敷きつめた見晴らしの良い公園も完成。ぜひ、ご覧ください。

元気な赤ちゃん



水江 忠杜くん
6年1月27日生まれ
(高松団地)

いっぱい食べて遊んで
やさしい男の子に
育ってね。



瀬戸島沙希ちゃん
6年1月23日生まれ
(梅ノ木団地)

いたずら大好きな沙希ちゃん
いつまでもその笑顔を
忘れないでね。

掲載を希望する人は、誕生日の前月20日までに庶務係へ申し込んでください。(毎月2人まで先着順)



30歳までの人を対象にした講座「コミュニティーカルチャー・ヤング水巻」が、ジャズ体操や陶芸などバラエティーに富んだ7回のコースで行われました。参加者は、学生やOLの女性ばかり13人。

12月14日の第6回目は、「おしゃれにフラワーアレンジメント」と題してクリスマスツリー作りに挑戦。もみの木に見立てたものに、色とりどりの飾りを付けて華やかなツリーが完成しました。

「友達と一緒に参加しました。いろいろな講座に分かれていて大変楽しいですね」と話してくれた柳瀬幸加さん(美吉野団地)。12月17日に行われた、この講座の最後を締めくくるクリスマスパーティーでは、参加者自慢の料理が並べられ、楽しいおしゃべりに花が咲いていました。

コミュニティーカルチャー・ヤング水巻

輝きたいアナタのための講座です

やさしい愛の天使たちの門出

遠賀中間医師会看護高等専修学校戴帽式



12月10日、中央公民館で遠賀中間医師会看護高等専修学校の戴帽式が行われました。この日、看護の世界へ第一歩を踏み出した白衣の天使たちは男女合わせて47人。厳かに行われた「戴帽の儀」では、照明が消され、真っ暗になった会場で、一人ひとりにナースキャップが授けられました。キャップをつけた生徒たちは整列し、ナイチンゲール像の聖火をそれぞれのローソクに受けていきます。

「やさしさを持って、常に明るい笑顔で患者さんに接していきたい」と話してくれた中村祐子さん(二東)。この日、戴帽式を終えた白衣の天使たちは、これから一年間臨床実習を受け、最前線での看護を体験していきます。

こんにちはは保健婦です

予防接種の

受け方が変わりました

新しい予防接種制度とは

1

最近の医療技術の進歩や衛生面の向上で予防接種の在り方が問われています。そのため、予防接種法を改正し、平成6年10月から新しい予防接種制度が始まっています。今回から3回にわたり、予防接種の受け方についてご紹介していきます。

予防接種は 伝染病の発生や流行を防ぐ

誕生間もない赤ちゃんは、お母さんの体から、病気に対する抵抗力（免疫）を与えられています。しかし、この免疫は百日せきや水痘では生後3か月までに、麻疹やおたふくかぜでは生後8か月ごろまでに自然に失われてしまいます。そのため、この時期を過ぎると赤ちゃん自身で免疫を作り病気を予防する必要があります。これに役立つのが予防接種です。予防接種は、免疫をつけ、はしかや百日せきなどの伝染病にかからないように予防することができます。

平成6年10月から始まっている 新しい予防接種制度とは

これまで、予防接種は天然痘やポリオなど、多くの病気の流行防止や根絶に効果を上げてきました。現在でも、こうした予防接種の重要性は変わるものではありません。しかし、最近の衛生水準の

向上や医療の進歩により、伝染病の発生が少なくなってきたことも事実です。また、まれではありますが、予防接種の副反応により健康被害を受けることがあるため、予防接種についての正確な情報の提供や安全な実施体制の整備が求められています。

そのため、予防接種法の改正を行い、新しい予防接種制度を平成6年10月から始めています。

この改正の大きな点は、予防接種を必ず受けなければならないという義務がなくなり、接種を受けるかどうかは本人（保護者）が決めることになったことです。

このほかの主な改正点は、次のとおりです。

- ① 個人の健康を守るために 社会での伝染病の流行を防ぐだけでなく、個人の健康を守るためのひとつの手段として予防接種を受ける
- ② 安全な予防接種体制への整備 ▼ 集団接種からかかりつけの医療機関で受ける個別接種へ移行します。
- ③ 健康被害（事故）に対する保障が充実します
- ④ 予防接種の種類が変わります ジフテリア、百日せき、ポリオ、麻疹、風疹、日本脳炎、破傷風、結核の8種類。また、今回の改正で予防接種制度の対象から、種痘、コレラ、インフルエンザ、ワイル病の4種類が外れます。
- ⑤ 対象年齢が広がります 次回は、「予防接種の対象年齢」についてご紹介します。



国民年金アラカルト

20歳になったら・・・
わくわく・ドキドキ **ねんきん**
はじめての

国民年金は20歳から60歳までの人が必ず加入しなければならない年金制度です。

国民年金では

3つの「基礎年金」が支給されます。

- ① 高齢者になったとき
- ② 病気やケガで障害を受けたとき
- ③ 不幸にも死亡してしまったとき

保険料は月額11,100円（平成6年度）です。支払いに便利な口座振替や経済的な理由で保険料の支払いができないときの免除制度もあります。詳しくは国民年金窓口にお尋ねください。



学生

自営業フリーター

サラリーマン・OL

「第一号被保険者」となります。役場国民年金窓口で本人か家族が加入手続きをしてください。手続きをされる時は、印鑑を忘れずに持ってきてください。

「第二号被保険者」となります。厚生年金や共済組合などと一緒に入りますので、本人は加入手続きの必要はありません。



問い合わせ・手続きは
役場国民年金係へ

職員募集

水巻町職員(保母)の
採用試験を行います。

- 採用職種と予定数 保母1人
- 受験資格 昭和44年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた人で、保母の資格を持っている人または平成7年4月1日現在で取得見込みの人
- ※地方公務員法第16条の欠格事項に該当する人は受験できません。
- 受付期限 平成7年1月25日(郵送の場合は、平成7年1月19日消印まで受け付けます)
- 試験日(一次試験) 平成7年2月5日(日) 午前9時から受付開始
- 試験会場 水巻町役場
- 受験手続 申込用紙は、水巻町役場総務課人事係に用意しています。必要事項を記入し、提出してください。
- 問い合わせ 水巻町役場総務課人事係 ☎201-4321

還付申告は
「集中還付申告センター」で

- 相談は無料
- ベテラン税理士と国・県などの職員が対応
- 会場/北九州市立商工貿易会館1階
- 期間/2月1日(水) ~ 3月15日(水)
- ※土曜、日・祝日は除く
- 受付/午前9時~午後4時
- 必要書類/源泉徴収票や領収書・証明書など



所得税還付の相談はどこに行けばいいの？



集中還付申告センター
でやっているよ。

●確定申告で税金が還付●

次のような人は、確定申告をすると、源泉徴収された税金が還付されることがあります。

- 住宅をローンで取得したとき
- 年の途中で退職して、年末調整をうけないとき
- 年金取得で、源泉徴収された税金があるとき
- 災害をうけたとき
- 多額の医療費を支払ったとき

●問い合わせ/若松税務署 ☎761-2536

※2月2日と3日は、役場101会議室でも受け付けます。



受賞おめでとうございます

遠賀郡ロードレース大会



遠賀郡ロードレース大会が12月18日、芦屋町祇園崎運動公園で約三百五十人の参加者を集め行われました。選手たちは、たくさんの声援を受けながら、寒風を吹き飛ばすかのように、健脚を競っていました。

12月10日、11日に北野町中央公民館で行われた福岡県体育指導員研修大会で、体育指導の功労者として宇高正美さん(猪熊)に県教育委員会から感謝状が贈られました。

寒さなんかに負けないぞ！

がんばった人にマル

スポーツの結果 12月

スポーツ少年団剣道大会



12月4日、武道館でスポーツ少年団剣道大会が行われました。この大会では、80人のチビッ子剣士たちが参加し、日ごろの練習の成果を競いました。

●団体の部

〔小学生〕①吉田剣道A ②伊左座剣道A ③頃末剣道A

〔中学生〕①吉田剣道 ②伊左座剣道 ③猪熊剣道

くらし

の LIVING INFORMATION

情報

☎問い合わせは

- 水巻町役場……201-4321
- 中央公民館……201-0401
- 南部公民館……202-2472
- 総合運動公園内
(体育係)……201-4000
- (テニスコート)……201-5757
- 町民体育館……201-3936
- えぶり山荘……202-6230
- 福祉センター……201-0794
- 社会福祉協議会……202-3700

たくさんの仲間が待っているよ
保育所園児を募集します

老人児童係

役場老人児童係では、平成7年度の保育所の入所を受け付けます。入所の対象となるのは、保護者または同居の親族が共働きや自営業、内職のため保育ができない家庭の児童です。また、疾病や病人の看護または母親の出産などで保育をする人がいない場合も対象となります。

- 受付期間 1月10日～2月10日
(年度途中の入所は随時受け付けます)
- 必要な書類

- ①入所申請書
 - ②勤務証明書
 - ③平成6年分源泉徴収票または確定申告書の写し
 - ④平成6年1月2日以降に転入した世帯は、前住所地の役所で発行の平成6年分課税額証明書
- ※①と②は役場老人児童係に用意しています。



※吉田保育園では3か月児からお預かりします
●申し込み・問い合わせ 役場老人児童係

保育所名	所在地	定員
町立 第1保育所	頃 末	70人
町立 第2保育所	吉田団地	60人
町立 第3保育所	梅ノ木団地	90人
水巻みなみ保育所	二	60人
水巻北保育所	猪 熊	90人
水巻吉田保育園	吉 田 三	90人

1月18日に行います
援護業務移動相談は

県援護課援護係

●相談内容
▽旧軍人の恩給について▽戦傷病者の援護について▽戦没者の遺族に対する援護について▽中国などからの引揚者・未引揚者に対する援護など

●とき 1月18日(水) 午前10時～午後3時

●ところ 八幡西区役所第32会議室(八幡西区筒井15-1)

●問い合わせ 県援護課援護係 ☎(092) 6511局1111番

3月末日まで受け付けます
鉱害復旧の申し出は

建設鉱害課

石炭採掘による鉱害の復旧を行う法律である臨時石炭鉱害復旧法の期限が、平成14年3月31日までに延長されることになりました。発生が終息している沈下鉱害に

電話加入権を
公売します



- とき 1月31日(火) 午前10時～
 - ところ 役場201会議室
 - 公売物件 電話加入権1台
 - 公売方法 入札
 - 代金の納付 当日の納付に限ります
 - 問い合わせ 役場納税係
- ※中止の場合がありますので、事前に確認してください。

よる被害で、申し出をしていない人は、3月末日までに手続きを行ってください。

また、将来浅所陥落などの鉱害が発生した場合は、期限後申し出を行うことができます。

- 対象となるもの 石炭採掘により、家屋・農地などに被害が発生して、効用の阻害があると考えられるもの
- 対象とならないもの ▽現在申し出中のもの▽過去、申し出をし、否認されたもの▽復旧済物件、金銭賠償済の物件
- 申出先 役場建設鉱害課または日本炭鉱礦害課(申し出を希望)
- 必要書類
- ①申出書などの提出書類 2部
- ②被害写真 1部
- ③土地または家屋の登記簿本と土地の字図 各1部
- ④墓地については、見取り図、個々の所有者、建造年次を明らかにする資料、土地謄本、字図 各1部
- 問い合わせ 役場建設鉱害課または石炭鉱害事業団九州支部計画二課 ☎(092) 4311局7712番へ

マリー・ローランサン展



みまき文化鑑賞講座

参加者募集

- とき 1月21日(土) 午前10時に中央公民館に集合
 - 行く先 福岡県立美術館
 - 交通機関 水巻町公用バス
 - 募集人員 25人(先着順)
 - 参加料 700円(入場料)
- ※前売券は購入しないでください。
- 申し込み・問い合わせ 1月12日より中央公民館で受け付けます。
 - 当日は、「マリー・ローランサンの生涯と作品」と題した講演会も行われます。

交通規制にご協力ください。

遠賀川にかかる御牧大橋整備工事のため、期間中は交通規制が行われます。ご協力ください。

- 片側通行 1月23日～2月15日
- 全面通行止め 1月17日から31日までのあいだのうち2日間

■規制時間

午後10時～翌日午前5時



■問い合わせ

北九州土木事務所 ☎691-2761

看護の仕事についている人は 届け出を忘れずに

県保健環境部医療指導課

歯科衛生士、歯科技工士、保健婦(士)、助産婦、看護婦(士)と准看護婦(士)で、その資格を生かした業務についている人は、2年ごとの12月31日現在の氏名、住所などを届け出ることが法律で義務づけられています。該当する人は1月13日(金)までに保健所に届け出てください。

●届出先 遠賀保健所(吉田三)

保健福祉会館(仮称)の

愛称募集

みんなに愛されるような
素敵な愛称をつけてください。



現在、填末に建設中の保健福祉会館(仮称)の愛称を募集しています。

この施設は、保健・福祉サービスの充実を図るための拠点となるもので、完成後は、住民の健康づくりの場として、また0歳児から高齢者までの交流の場として利用されます。

この施設に親しみやすく、水巻町らしい愛称をつけてください。

皆さんのご応募をお待ちしています。

応募要領

●応募方法 ハガキに愛称とその趣旨、住所、氏名、年齢、電話番号を記入して、次の応募先までお送りください。

また、役場社会課窓口でも受け付けています。

●応募先 水巻町役場社会課「保健福祉会館愛称募集係」(〒807 水巻町大字填末 880番地の1)

●募集期限 1月31日(火)(必着)

●賞品 採用された作品1点に旅行クーポン券

*作品は、一人1点に限り、返却はしません。著作権は水巻町に帰属します。

*愛称募集要領と受付箱は、中央公民館、南部公民館にも備えています。

●問い合わせ 役場社会課 ☎201-4321

危険物取扱者試験を 3月12日に行います

遠賀郡消防本部

- 試験種類 乙種 第4類
- 試験日 3月12日(日)午前10時から
- 試験会場 九州共立大学(八幡西区自由ヶ丘1-8)
- 受付期間 1月16日～29日
- 願書受付 受験願書の交付と受け付けは遠賀郡消防本部(遠賀町広渡)で行います
- 問い合わせ 遠賀郡消防本部予防課 ☎293局8125番へ

子育てに役立つ 公民館講座を開設します

南部公民館

- 南部公民館では、育ちざかりの子供にとつての絵本の大切さや読み聞かせなど読書指導の講座を行います。ご参加ください。
- とき 1月25日(水)午前10時～正午
- ところ 南部公民館
- 講演 「子育ての中に絵本を」/講師 渡辺栄子さん
- 問い合わせ 南部公民館

福岡県児童画展入選作品の 展示会を行います。

●期間 1月18日～30日
●会場 中央公民館

愛のおくりもの ありがとうございました

町社会福祉協議会

次の方々から社会福祉協議会にご寄付いただきました。

一般寄付として

●JA遠賀水巻支所年金友の会 陶芸部

●香典返しとして

●古賀 故・峯浦 豊様

●猪熊 故・山形マジキ様

●下二 故・山形ハツミ様

●吉田二 故・渡辺たみ子様

●猪熊 故・伊東レイ様

●猪熊 故・石橋 信枝様

●猪熊 故・石橋 国利様

●猪熊 故・谷岡 春恵様

●猪熊 故・谷岡 増太郎様

●猪熊 故・原田ハルエ様

●猪熊 故・原田 和儀様

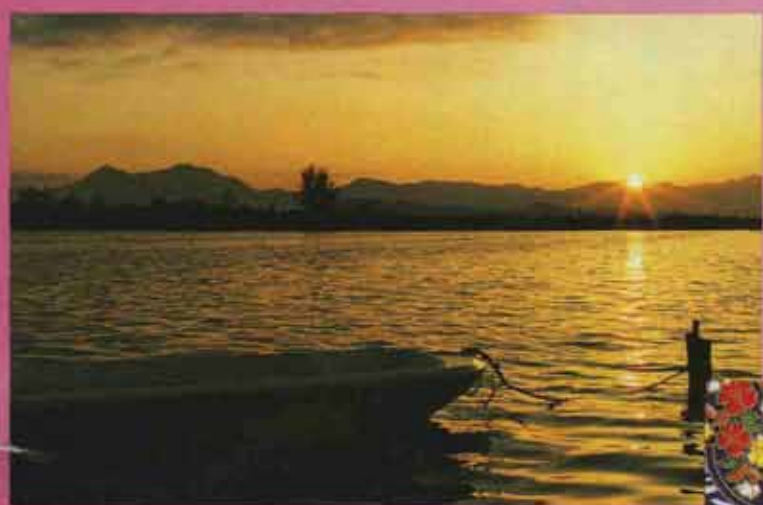
●猪熊 故・樋口 登様

●猪熊 故・樋口 ミヨ子様

●猪熊 故・高松団地



撮影 ● 山口博信さん (吉田三)
撮影場所 / 吉田三・河守神社



撮影 ● 高田辰夫さん (吉田二)
撮影場所 / 遠賀川・立屋敷

水巻らしい
「水巻の四季」を再・発・見

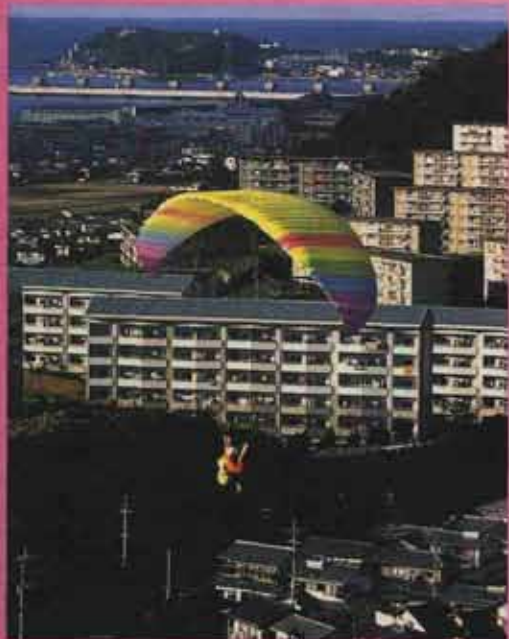


撮影 ● 上田由美子さん (直屋町)
撮影場所 / 遠賀川河川敷

表情豊かなこの町、
もっと見つめていきたい



撮影 ● 江崎秀樹さん (頃末) 撮影場所 / 猪熊



撮影 ● 阿部眞佐美さん (高尾岳地)
撮影場所 / 高尾ボタ山

このページと表紙に掲載した写真はすべて「水巻町こころのフォトコンテスト」の応募作品です。ご協力ありがとうございました。
また、今月号の「むかし むかし」は休みます。楽しみにしていた人、ごめんなさい。

あけまして
おめでとう
ございます



■いよいよ平成7年の幕が開き、広報担当として2回目の新年を迎えることになりました。広報に携わってからは、とても一年間が過ぎるのが早くもなったような気がします。一年間を通じて行われる様々な行事の一つ一つが終わっていくことにより、季節の変わり目を感じることができるようになりました。人それぞれに四季の感じかたは、違うと思いますが、このような形で四季を知ることが出来る自分、とても幸せだと思います。今年一年間も広報づくりに励みながら四季を感じていきたいものです。(寺田)

■新年号では初めてカラーを試みました。また、特集では、中学生を初めてインタビューに迎えての新春対談。両中学校とも女性の生徒会長で、心無しか紙面に彩りと若さを添えてくれたようです。今年、体力の衰えてきた分、気力でも人ばります。マとは言っても今日は12月24日、クリスマス・イブ。ジングルベルの鈴の音の代わりに、隣からワイプロを打つ音。かじかむ手をこすりながら、負けずにワイプロをたたいていきます。こんな二人にはサンタクロースの代わりに締め切りがやってきます。残業続きの今、街の明かりが恋しい気分です。(歳元)

この広報紙は再生紙を使用しています。

